



WORK

in HIRONO TOWN

株式会社 エイブル



技術開発本部
技術開発部
第一・第二技術開発グループ

■ 森下 恵悟

栃木県出身。大学進学後に、復興に携われる仕事をしたいと思いエイブルに入社。遠隔で構造物を解体する業務に従事。



環境事業開発部
再生可能エネルギーグループ

■ 根本 想

富岡町出身。東京の大学に進学。地元で貢献したいという思いから入社。再生可能エネルギーに関わる業務に従事。



管理本部 総務部
法務・広報・秘書グループ
秘書

■ 柏 彩花

4歳の娘さんのママ。子育てを重視した職場選びの際に、近隣にこども園があるエイブルを知り入社。総務で事務職の傍ら、秘書業務に従事。

再生可能エネルギー部
再生可能エネルギーグループ

■ 鈴木 萌

山形県出身。京都の大学に進学。就職は震災時の記憶から、福島復興への手助けしたいという思いがあり、エイブルに入社。再生可能エネルギーに関わる業務に従事。



1991年大熊町で創業、2012年6月に広野町に本社事務所を移転。電力プラント事業をはじめ、再生可能エネルギーからロボット開発まで、最先端の技術と知識で地域の復興に貢献しています。

今回「地元の復興のために尽力したい」という会社の強い思いを背負って働くエイブルさんの若手社員4名に、広野町の生活や仕事についてお話を伺いました。



町のイベントなどに参加し町民とのコミュニケーションを大切にしています。



遠隔操作ロボの作業は繊細な技術と気配りが必要とされる業務です。最先端の技術を取り入れ、復興のために尽力しています。



平成26年10月に発電を開始した『ソーラーパークならはI』再生可能エネルギー事業にも力をいれています。

「利他」の精神が息づく社風

柏

エイブルには「利他」という社風があります。お客様のために何かしたいというのはもちろんですが、社員同士でも相手を喜ばせたいという思いやりの心が伝わってきます。それから、産休・育休が取りやすいというのもいいですね。男性の育休取得の実績もあります。

森下

分野を問わず、その人に合った活躍の場を用意してくれることや、若手にもどんどん仕事を任せてくれ、本当にありがたいですね。

根本

再生可能エネルギーへの取り組みや、健康事業や農業等、未来を見据えた事業計画をしているところが弊社の魅力です。

鈴木

人間関係というか、社内の雰囲気がとても良いです。「利他」の精神、人のため、お客様のため、社員のためという精神が社内に息づいているからだと思います。

充実した休日

森下

釣りやドライブが趣味なので、少し遠出して楽しんでます。私は、都会の雰囲気も苦手なので、山も川も海もある、自然豊かな広野町の環境が気に入っています。

鈴木

休日は買い物やおとなりのいわき市に出かけています。広野駅には特急も停車しますし、仙台にも東京にも出やすいですね。

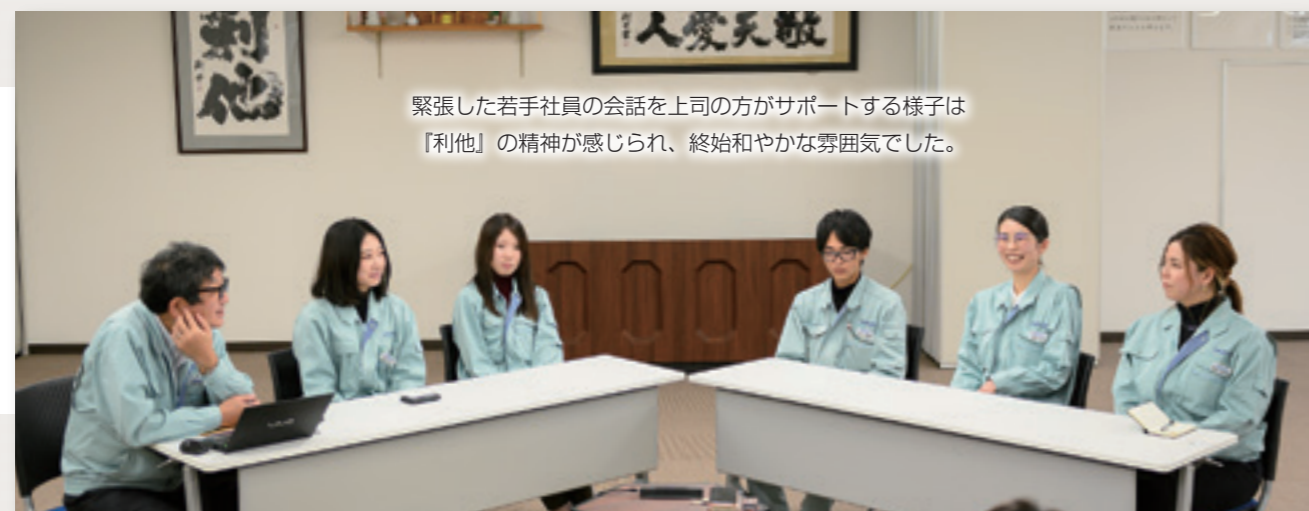
根本

パークゴルフを月に二ツ沼総合公園に出かけています。地域の先輩の方々もいらっしやるので、一緒にプレイしたり。パークゴルフで広野町を盛り上げたいです！(笑)。あと、アルパークもいるので癒されていますね。

柏

子どもと遊ぶ時間がなかなか取れないので、休日は二ツ沼総合公園をメインに公園巡りなど

緊張した若手社員の会話を上司の方がサポートする様子は「利他」の精神が感じられ、終始和やかな雰囲気でした。



広野町の魅力

鈴木

海が近いところは魅力的。たまに海岸を散歩するんですけど、すぐクリフレスキューできますね。あとは、津波の避難訓練や町内のゴミ拾いなどで、地域の人たちと交流できる場があるのもいいですね。

森下

車いじりも趣味なのですが、ぷらっとあつとさんの駐車場を借りて車をいじっていると、通りがかった地元の人が声をかけてくれるんです。少しの時間ですけど、雑談から繋がりができるのが嬉しいです。私は他県から移住してきているので、そういう地元の人たちとの触れ合いがあったかくて身こしみます。

柏

親目線で見ると、広野町はとても子育てしやすい町。こども園や小中学校では給食費が無料なので、本当に助かります。あとは、小児科もある「馬場医院」の存在は大きいですね。イオンがあるので買い物にも困りませんし、ひとつの町で生活が完結できるのは、子育てに忙しいママにはとてもいい環境だと思います。

根本

子どもといえば、商店街に放課後の高校生が集まっているのもいいなと思いました。精肉店でコロッケ買ってたむろってるみたい(笑)。そういう光景を目にするのが元気をもらえますよ。若い人たちが昔からある商店街の方々と交流しているところを見ると、広野はあったかくていい町だなって思います。